

地域クラブ「Blue Ocean」が拓く 部活動地域展開

1 はじめに

土浦市では、中学校の生徒数が10年間で約15%減少しており、部員不足のため十分な活動ができない部や、存続が困難になっている部が複数の学校で見られていました。また、教職員が専門外の競技等の顧問を務める負担も課題となっていました。こうした背景を受け、子供たちのスポーツ・文化芸術活動の質的・量的確保や、教職員の負担軽減を目指し、市教育委員会が主導して令和5年9月に「土浦市地域クラブ活動推進協会」(以下、推進協会)を設立しました。そして令和5年10月、土浦市独自の地域クラブ「Blue Ocean」の活動を始動させました。

2 Blue Ocean の運営体制

地域全体で子供たちの成長を支えるため、行政・学校・地域が連携した運営体制を構築しています。

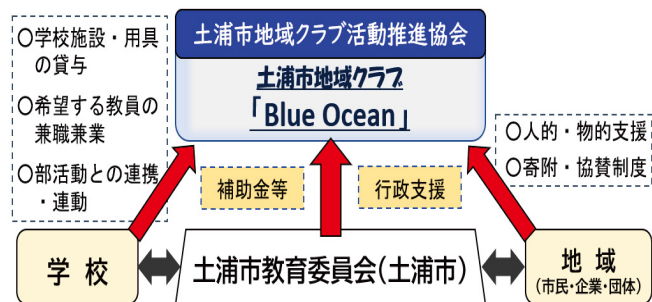


図1 Blue Ocean 運営体制図

(1) 運営主体

Blue Ocean の運営は、推進協会が全面的に担っています。協会事務局が窓口を一本化し、会員や指導者の登録・管理、活動スケジュールの調整、そして関係機関との連絡調整を一括して行っています。このように推進協会が全体を把握・管理することで、どの競技を選んでも活動機会の平準化が図れるとともに、危機管理体制も一元化され、子供たちが安全に活動できる環境を整えています。

(2) 行政・学校・地域の三位一体の連携

行政、学校、地域社会がそれぞれの強みを活かして協力する体制を構築しています。行政は予算の確保や制度設計、広報、活動全体の指導助言を担当しています。学校は、既存の校庭や体育館といった施設・用具の提供に加え、教職員の兼職兼業による参加等で部活動との円滑な連携・連動を支えています。そして地域は、指導者バンクを通じた指導者の派遣や、地元企業による寄付・協賛等の財政的支援、さらにイベントへの協力などを通じて、地域全体で子供たちのスポーツ・文化芸術活動を支えています。

(3) 指導・安全管理体制

質の高い指導と安全を確保するため、独自の「指導者人材バンク」を構築し、兼職兼業の教職員の他にも多様な人材を確保しています。指導者は、主たる指導を担う「指導員」、そのサポートを行う「ボランティア指導員」、そして見守りを行う「ボランティアスタッフ」の

3つのカテゴリーで募集、配置しています。各クラブに必ず2名以上の指導者を配置することで、技術指導の充実だけでなく、事故やケガの未然防止など、安全面の確保に努めています。

(4) 持続可能な財政基盤

将来にわたって活動を安定的に継続できるよう、多様な財源を組み合わせた運営を目指しています。具体的には、参加者による受益者負担（令和8年10月開始予定）を基本とし、行政からの補助金も役立てていきます。さらに地元企業からの協賛金や寄付を募ることで、公的支援のみに頼らず、受益者と地域経済が共に支え合う、持続可能な財政モデルを追求しています。

3 Blue Ocean の地域クラブ活動

Blue Ocean は現在9競技、28のクラブで活動しています。子供たちが「楽しさ」と「学び」を両立し、将

【競技別クラブ数・参加者数・指導者数一覧】

（令和8年5月末）

競技	クラブ数	参加者数 (人)	指導者数 (人)
軟式野球	4	123	21
サッカー	3	166	24
男子バスケットボール	4	111	17
女子バスケットボール	2	75	11
男子バレーボール	3	99	14
女子バレーボール	4	142	14
柔道	1	24	13
剣道	2	61	14
弓道	2	62	9
新体操	1	29	5
バドミントン	2	101	7
巡回指導員			2
計	28	993	151

来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しめるよう、多様なニーズに応える取組を展開しています。

(1) 常時活動

活動の中心となるのは、土・日のいずれか週1回、3時間程度実施される常時活動です。近隣の複数の中学校を一つの拠点として活動することで、単独校では部員不足だった競技においても、安定した人数で質の高い練習ができる環境を整えています。活動内容は基礎練習から応用、練習試合まで多岐にわたり、競技技術の向上だけでなく、他校の生徒との交流を通じた人間性の向上を大切にしています。

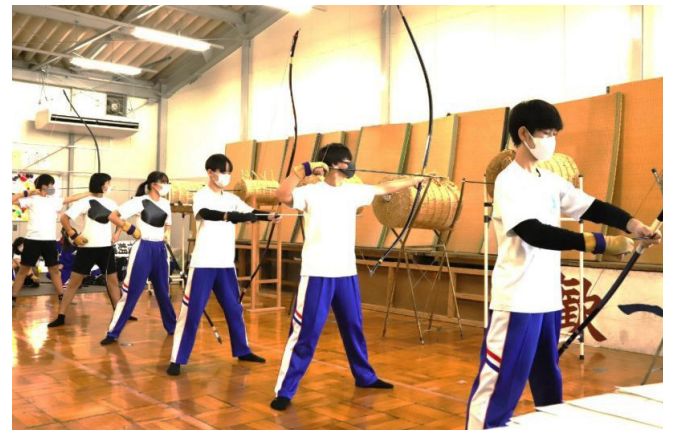


写真1 常時活動の様子(弓道)

(2) Blue Ocean 交流大会の開催

日々の練習の成果を試す場として、競技ごとに交流大会を開催しています。この大会は、クラブ会員相互



写真2 交流大会の様子(バスケットボール)

の交流を深めるだけでなく、近隣市町村のチームを招待することにより、広域的な交流の場としても機能しています。参加した子供たちからは「いろいろなチームと試合ができて楽しかった」といった喜びの声が上がり、活動の大きなモチベーションとなっています。

(3) 実技講習会の実施

子供たちの「もっと上手になりたい」という意欲に応えるため、専門性の高い講師を招いた実技講習会を定期的に実施しています。これまでに実業団選手や大学の専門指導者などを招聘し、技術や理論を直接学べる貴重な機会を提供してきました。

この講習会は子供たちのスキルアップだけでなく、現場で指導にあたる指導者にとっても指導法を学ぶ研修の場となっています。



写真3 実技講習会の様子(軟式野球)

(4) 引退のない継続的な活動 「NRA9プロジェクト」

「NRA9 (Non-Retirement Activities for 9th graders) プロジェクト」は、部活動を引退した中学校3年生を対象とした取組です。夏の大会で引退した後も、高校入学までの空白期間を作らず、活動を希望する子供たちが継続して競技に親しめる場を保障しています。通常の練習への参加に加え、高校生との合同練習などの機会を設けることで、次のステップへの円滑な接続を支援しています。

4 Blue Ocean スポーツフェス

Blue Ocean が主催するスポーツフェスは、毎年スポーツの日に開催しており、令和6年度は約 2,400 名、令和7年度は約 2,000 名の来場者を迎えました。その最大の狙いは、子供たちが日頃の部活動や地域クラブの枠を超え、多様なスポーツや文化に触れる機会を創出することです。また、地域企業や大学等が一体となってイベントを作り上げることで、部活動の地域展開に対する理解を深め、地域全体で子供たちを支える機運を醸成する場となっています。

(1) スポーツ教室・体験コーナー

メインコンテンツとなるスポーツ教室では野球、サッカー、陸上競技、フラッグフットボールなど、専門の指導者や大学生から直接学べる場を提供しています。さらに、子供から大人まで全世代が楽しめる「ミニスポーツ体験」として、ボッチャやモルック、スマートフェンシング、弓道体験など、日常では触れる機会の少ない競技種目も多数用意しています。これらを通じて、競技志向の子供たちだけでなく、「体を動かす楽しさを味わいたい」というエンジョイ志向の層まで、幅広いニーズに応えています。



写真4 スポーツ教室・体験コーナーの様子

(2) トップアスリート講演会・アトラクション

スポーツ技術の向上だけでなく、子供たちの豊かな人間性を育むプログラムも充実しています。日本代表クラスのトップアスリートを招いた講演会やトークショーを実施し、世界で活躍する選手の言葉や理論に直接触れ

る機会を設けています。また、会場を盛り上げるアトラクションとして、高校マーチングバンドによる演奏や絵画作品展なども同時開催しており、スポーツと文化芸術が融合した交流機会を創出しています。



写真5 トップアスリート講演会・アトラクションの様子

(3) 地域経済との連携

スポーツフェスは、地元企業や団体との連携を深める機会にもなっています。令和7年度は地域の39の企業や団体から協賛・寄付を受け、当日は多くの企業出展ブースが軒を連ねました。また、多数のキッチンカーコーナーも併設し、スポーツを軸とした地域経済の循環やコミュニティの活性化に大きく寄与しています。

5 Blue Ocean の成果と課題

(1) 成果

令和8年1月に実施したアンケート結果によると、会員の86.3%、保護者の74.9%がBlue Oceanの活動に満足と回答しています。満足と回答した主な理由として、会員は「活動の楽しさ」や「他校との交流による刺激」を挙げ、部活動の枠を超えた有意義な時間を過ごしています。保護者からは、複数の指導員による安全管理への安心感が高く評価されています。

(2) 課題

アンケート結果から、保護者の送迎の負担が課題となっています。Blue Oceanの活動は拠点校方式としており、会場が自校以外になることが多いため、長距離

【会員・保護者対象アンケート結果】

(令和8年1月調査)

1 地域クラブへの満足度

(%)

	会員	保護者
とても満足している	36.7	18.5
満足している	49.6	56.4
あまり満足していない	10.1	20.0
満足していない	3.6	5.1

2 満足と回答した理由(複数回答)

(%)

	会員	保護者
活動が楽しい(楽しんでいる)	72.5	75.2
十分な活動時間の確保	31.7	16.0
十分な活動人数の確保	35.0	18.4
他校の会員と活動することでの刺激	46.7	44.7
他校の会員との交流が生まれた	43.3	35.9
指導員の指導内容がよい	31.7	16.5
複数の指導員がいることの安心感	22.5	20.9
活動場所に会員だけで行ける	19.2	21.4

の移動が必要となります。また、大きな用具を運ぶ必要がある競技では、自転車での移動が困難なことから、場所を問わず、保護者による送迎が不可欠な状況となっているため、現在、活動場所の工夫や移動手段の検討など、解決策を多角的に模索しています。

6 さらなる地域展開に向けて

令和8年10月には、休日のソフトテニス部、卓球部、ハンドボール部、陸上競技部、吹奏楽部の活動をBlue Oceanに追加し、全ての休日部活動が地域クラブ活動となります。これにより、自校にない種目への参加や、引退せずに活動を継続できる「NRA9プロジェクト」など、一人一人の多様なニーズに応える環境が整います。

今後は組織としての社会的信用を確立し、地域企業等との連携を強めることで、公費に過度に依存しない自立

した運営基盤を構築していく予定です。子供たちが「楽しさ」と「学び」を両立し、将来にわたり活動に親しめる持続可能な体制の発展に努めていきます。

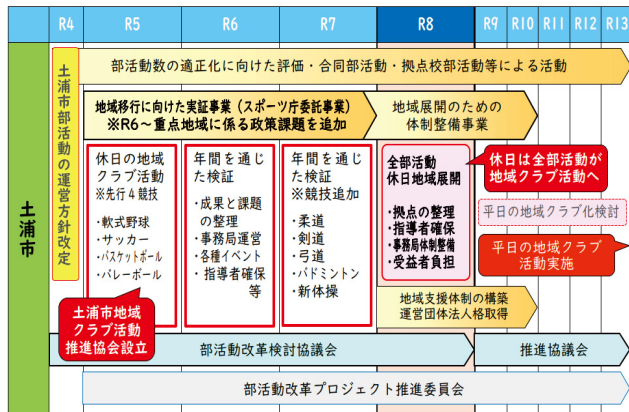


図2 部活動地域展開ロードマップ